

遠隔教育の事例（熊本県高森町）

実践例 No.13

学年 中学校 1年生 教科名 美術
単元名 絵文字がしゃべりだす
参加学校 高森町立高森東中学校(3人)・
高森町立高森中学校(24人)

使用ICT機器



高森東中学校1台



グループ1台



高森中学校2台

- ・各生徒は前時まで、漢字の意味を踏まえた絵文字を考え、ワークシートにまとめました。
- ・本時では、情報端末を使って班ごとに相手校とつなぎ、自分が考えた絵文字を班で発表し、それぞれの良い点や気になる点について話し合いました。
- ・班ごとに話し合った内容を基に、班の代表が全体に向けて、どの絵文字が良いか、どこに手を加えると良いかなどを発表しました。最後に教員が、自ら作成した絵文字を提示しながら、ポイントを説明して振り返りを行いました。



▲相手校の生徒と班になって、自分の考えたことを発表し合う



▲班の代表が全体に向けて発表する



▲美術担当の教員が専門的なアドバイスを行う

遠隔合同授業
の評価



- 高森東中学校では、免許外教科担任による指導が行われていましたが、高森中学校と合同で授業を行うことで、美術科教員による専門的な指導を受けられました。
- 他人の絵文字を見たり意見を聞いたりして、自分では考え付かなかったようなアイデアを得ることができました。

(出典) 遠隔学習導入ガイドブック2016 P.20

(人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業(学校教育におけるICTを活用した実証事業))